

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 5年 12月 25日

協議会名: 五所川原市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
弘南バス株式会社	(1)七和線	【前回の評価結果】 R5開始事業のため前回評価なし	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 【目標値】4,600人 【実績値】2,610人 【達成率】56.7% 目標値として設定した令和3年度実績に対して達成率が80%以下となった要因としては、運行便数が往復6便から往復4便に減少した事により、市中心部での利用が減少したためと考えられる。	主な利用者である学生の通学及び高齢者の通院・買物需要の把握に努め、効率的で持続可能な運行の実現に向け、運行時刻・便数の見直しを検討する。 また、市広報誌での折込チラシの配布や主要バス停でのチラシ設置等の周知活動を継続して実施する。
五所川原交通株式会社	(4)梅沢地区・七和地区 (6)三好地区	【前回の評価結果】 R5開始事業のため前回評価なし	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【目標値】222人 【実績値】452人 【達成率】203.6% 実績値が目標値を大幅に上回った要因としては、市広報誌やホームページ等による定期的な情報発信の効果や、実証運行開始から2年以上経過し地域住民に浸透してきているためであると考えられる。	主な利用者である高齢者の通院・買物需要の把握に努め、利用者ニーズを考慮した運行曜日・運行回数・乗降場所などの見直しを検討する。 また、市広報誌での折込チラシ配布等の周知活動を継続して実施する。
株式会社尾崎タクシー	(2)飯詰地区・金山地区		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	
株式会社木村タクシー	(3)長橋地区		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	
	(5)中川地区		A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 計画運行回数37回に対し、実績値10回であり、30%に満たないため国庫補助対象外。	

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 5年 12月 25日

協議会名:	五所川原市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>五所川原市の公共交通機関は、鉄道においては、五所川原市と中泊町中里地区をつなぐ民間鉄道「津軽鉄道線」、弘前方面と青森方面に運行する「JR五能線」がある。</p> <p>バス路線は、五所川原市地域公共交通網形成計画を策定した平成29年3月時点では、市内のみ運行している11路線と、市域外をつなぐ15路線であったが、利用者の減少等に伴い補助額が増加傾向となるほか、運行事業者の運転手不足や車両不足といった様々な要因から、現在まで持続可能な公共交通網の構築を目的として公共交通再編事業を実施した。</p> <p>現状、バス路線においては、市内のみを運行している路線は7路線、市域外を走る路線は東西南北をつなぐ9路線となっているが、市内路線の再編により発生した交通空白エリアにおいては、予約型乗合タクシーを運行するなど交通結節点までの足の確保を行っている。</p> <p>また、令和5年4月1日より更なる交通空白エリアの解消と利便性向上を目的として、中川地区(大字川山・種井)の運行区域を中川地区全域に拡大し、三好地区へ予約型乗合タクシーを新規導入することとしている。</p> <p>バス路線の需要が高い梅沢・七和地区においては、利用の少ない水野尾線と統合を図り七和線を運行する事で地域住民の生活交通の確保を図ることとしている。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、七和線及び予約型乗合タクシー運行事業の確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。</p>

生活交通確保維持改善計画

目的・必要性

対象路線及び地域には主要な公共施設や病院、商業施設、高等学校がなく、また市中心部からも遠いことから、自家用車を持たない住民にとって対象路線は通学通院、買物等のために市中心部へ移動する唯一の手段であり、その維持確保が必要とされている。

路線バス、乗合タクシーを維持確保し、地域間交流による市全域の活性化を図り、持続可能な公共交通システムを構築することを目的とする。

確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】

- 七和線(運行事業者：弘南バス株式会社)
 - ・系統数：1系統
 - ・運賃：120円～200円(協議運賃)
 - ・運行日：毎日運行(1便、土日祝運休あり)
- 飯詰・金山地区(運行事業者：株式会社尾崎タクシー)
 - ・運賃：300円
 - ・運行日：火・木曜日
- 梅沢・七和地区(運行事業者：五所川原交通株式会社)
 - ・運賃300円
 - ・運行日：火・金曜日
- 長橋地区(運行事業者：株式会社木村タクシー)
 - ・運賃300円
 - ・運行日：月・金曜日
- 中川地区(運行事業者：株式会社木村タクシー)
 - ・運賃300円
 - ・運行日：火・木曜日
- 三好地区(運行事業者：五所川原交通株式会社)
 - ・運賃300円
 - ・運行日：火・木曜日



事業・実施主体

- ・系統や便数、運行ダイヤの見直し(各運行事業者、五所川原市)
- ・各地区に対する周知徹底(五所川原市)

定量的な目標・効果

【目標】

年間利用者数
路線バス4,600人以上、予約型乗合タクシー222人以上

【効果】

運行対象地区に路線バス及び予約型乗合タクシーを運行することで、各地区の交通弱者の足が確保される。

基礎データ

合併状況：平成17年に五所川原市、金木町、市浦村が合併
面積：404.20km²
協議会開催数：7回(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

人口：51,415人
高齢化率：35.9%

前回の評価結果

新規事業のため、前回事業評価なし

評価項目

実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】

七和線については、目標値4,600人に対し、実績値2,610人と目標達成率56.7%となった。目標値として設定した令和3年度実績に対して達成率が80%以下となった要因としては、運行便数が往復6便から往復4便に減少した事により、市中心部での利用が減少したためと考えられる。

予約型乗合タクシーについては、目標値222人に対し、実績値452人と目標を大幅に上回る結果となった。実績値が目標値を大幅に上回った理由としては、市広報誌やホームページ等による定期的な情報発信の効果や、実証運行開始から2年以上経過し地域住民に浸透してきているためであると考えられる。しかし、中川地区については計画運行回数37回に対し、実績値10回であり、30%に満たないため補助対象外となる。

【実績】 七和線2,610人(達成率56.7%) C:1件
予約型乗合タクシー452人(達成率203.6%) A:6件、C:1件

※評価の判定基準

- ・A ⇒ 目標達成100%以上
- ・B ⇒ 目標達成80%以上100%未満
- ・C ⇒ 目標達成80%未満、又は、補助対象外(1運行当たり2人未満、運行割合30%未満)

事業の今後の改善点

七和線については主な利用者である学生の通学及び高齢者の通院・買物需要の把握に努め、効率的で持続可能な運行の実現に向け、運行時刻・便数の見直しを検討するほか、市広報誌での折込チラシの配布や主要バス停でのチラシ設置等の周知活動を継続して実施する。

乗合タクシーに関しては、主な利用者である高齢者の通院・買物需要の把握に努め、利用者ニーズを考慮した運行曜日・運行回数・乗降場所などの見直しを検討する他、市広報誌での折込チラシの配布などの周知活動を継続して実施する。国庫補助対象外となった中川地区については、住民より寄せられた運行時刻に対する要望を受けて、利便性の高い運行時刻の再設定を実施し、運行回数の向上を図る。

五所川原市地域公共交通活性化協議会

五所川原地域予約型乗合タクシー及び七和線運行経路図

